

「暑さ寒さも彼岸まで」という日本の四季の移ろい、厳しい暑さがなくなり過ごしやすくなりました。一歩一歩近づく秋。虫探しや木の実集めに落ち葉拾いなどの初秋の発見は子どもたちを喜ばせてくれます。

さて、先日は子育てセミナーに多数ご参加頂きありがとうございました。講師の重永氏は子どもの様々な権利侵害を防止する活動をされています。話の内容を少しご紹介しますね。

今の実情として18歳未満の男の子10人に1人。女の子2.5人に1人が性被害にあっているそうです。この数値でさらに驚きなのが、決して知らない大人が加害者ではなく、知っている大人・身内からの被害ということです。大人の理不尽な力で弱い立場の子どもが危険にさらされています。自分の身体は自分のもの。自我の芽生えの1歳半時期に子どもたちは「イヤ」という一言で自分の意思表示をします。この頃の「イヤ」という自己主張は、反抗ではなく、自分の意思を表現しており、その力は実は、将来自分の身を守るためにとても大事な力なのです。

私たち大人は脅したり、不安を煽る形で子どもに危険を教えてしまいます。そうすることで被害にあった子どもは、全ての要因は自分にあると思ってしまう。秘密は守らないといけないと思う子どもたちに「怖い秘密は守らなくていいよ」「安心できる人に話をしてもいい」ということを、怖がらせずに教えることが大事です。「イヤ」と言っていいことを子どもに権利として渡しましょう。

NO イヤと言ってもいい
GO 逃げてもいい
Tell 誰かに話していい

また困っている子どもに対して、すぐにアドバイスや答えを渡してしまうのではなく、本人に本人のことをたずねることが大事です。なぜならば 尋ねられた子どもは 考えるからです。そうやって子ども自身に考えさせること。「見ているよ」「何に困っているの」「なんて言いたかったの」「教えてくれてありがとう」言える大人・言える関係性を子どもたちと築くことが大人の役割です。

そのほか現代社会における子育てを脳科学やヒトの進化、社会の変容や子どもの権利と多角的な視点を持って考えさせられた1時間半。核家族化・共働きが主流になった時代、社会の中で家庭の中で精一杯頑張るそんなお母さんに贈る応援歌のように聴こえた講演会でした。人が生まれながらにして持つ「安心・安全・自由」の権利は誰も奪えないもの。エピソードを交えて、心に刺さる、心に響く重永先生の話は愉快だけど重く、そして心の深い場所にしっかりと届きました。

この話を聞き、我々保育士は保護者と同じ方向を向き、共に悩み、考え、時に大切な話を一緒に聞き、将来の幸せをつかめるような人間になるように、太くて頑丈な心の根っこを付けていきたいと思いました。

10月の行事予定

- 9日(水) 運動会のリハーサル
- 16日(水) 運動会のリハーサル
- 19日(土) 運動会**
- 24日(木) 避難訓練・身体測定
- 25日(金) 誕生会・職員会議

今後の予定

- 11月 9日(土) 0, 1歳児保育参観懇談会
- 11月 14日(木) 園児健診99:30~
- 12月 7日(土) 2・3歳児保護者懇談会

年末年始休み

12月29日(日)~R7 1月3日(金)

うた・ほくら太陽の子

はしってごらんよ かぜをきって
ひろいだいちが おおきく ゆれるんだ
みんなでいれば くやしいことも あるけれど
みんなのなかで なみだもでるけど
ほくら たいようのこ おひさまのこ
みんなで てをつなげば なんでもできる
ほくら たいようのこ おひさまのこ
みんなで てをつなげば なんでもできる

～保護者の方の感想を紹介させていただきます～

日々の生活の中で「～しちゃいけない」「～したらダメ」をどれだけ繰り返してきたら。と反省しました。自分自身もその言葉言ったあとに苦しい気持ちになっていて、子どもにも自分にも辛い言葉だと思いました。(5歳母)

実践してみようと思う内容がたくさんあったのですぐに取り組んでみようと思います。しかし、その後も何度か怒鳴る場面もあり・・・けど、子どもが35歳になった時に“良かった”と思えるように楽しく子育てをやっていこうと思います！(4歳母)

SNSなどで子育ての情報が溢れかえって何を大事に子育てしたらいいのか漠然としていたけれど今日の講演で整理することができました。(5歳母)

子育ては親だけでなく、社会全体で集団で行うものだという言葉が嬉しかったです。忙しい毎日の中で子育てで悩むこともたくさんあり余裕がなくなる時も多いです。(4歳母)

ためになるお話を楽しくきかせて頂き、まだまだ聞いていたいくらいでした。(2歳母)



なんと楽しいおはなし会でしょう。子育てセミナーと吉本新喜劇を兼ね備えた子どもの心を取り戻せる時間でした。自分頑張っていたんだ。子どもは空気が読めない方がいいんだ。要は生きるためなんだと理由まで順序立てて話されるので納得する。楽しいのになぜか泣きそうになる講演会で最高でした。(5歳母)

叱らず「何に困っている?」「手伝うことある?」「教えてくれてありがとう」こんな声掛けの方法があったんだと学べた。(職員)

アタッチメントという言葉が胸に響きました。育児に関しては私がすぐに怒ってしまって、隣で主人が笑っているのを見て腹が立っておりましたが、主人がひとつ上でした。(3歳母)

「こんな母親になりたい」とか「毎日笑って優しく声かけて」とか自分の描いていた理想とはかけ離れた毎日を送っています。セミナーに参加してわたしだけじゃないんだ。と安心した部分があります。(5歳母)

目の前の子どものことだけでなく、社会の問題とともに教えて頂きとても分かりやすかったです。頑張らないと焦ってしまいがちですが、少し力を抜いて子どものペースを見守っていきたいと思います。(1歳父)

どうしても働いて時間的にも精神的にも余裕がない育児をしていることに、罪悪感がいっぱい悩むことが多いけど、心が少し軽くなることも、ここからまた笑顔でやってみようと思えた時間でした。(5歳母)